



2024年8月26日

各 位

会社名 株式会社データ・アプリケーション
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 武志
(コード番号：3848)

問合せ先 取締役常務執行役員経営企画管理本部長 金子 貴昭
(電話：03-6370-0909)

2025年3月期第1四半期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2024年8月5日(月)の2024年3月期第1四半期決算発表以降において、株主・投資家の皆様からのお問い合わせおよび1on1ミーティングなどにていただいた主なご質問をまとめたものです。当社のご理解を賜る事を目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

【業績について】

Q.1Qの全体感について、どのように評価されていますか？

A.前第1四半期に発生した一過性の特需がなくなり、減収減益となっておりますが、当社が戦略的に推進しているサブスクリプション販売については順調に推移しております。前第1四半期の特需とは、大型案件をパッケージにて受注(パッケージで売上げると、それに伴う保守料(メンテナンス)も付随して増加)、バージョンアップ案件を複数受注(止まってしまうシステムのため、切り替え時、古いバージョンと新しいバージョンを平行稼働させることに起因するタームライセンスという期間利用のライセンスも増加)したことです。

Q.サブスクリプションの伸びに季節性などはありますか？

A.特にございません。なお、ボラティリティの高いパッケージ販売からサブスクリプション販売へと転換を図っておりますのは、安定的な収益基盤の確立を目指すためです。

Q.メンテナンス売上の減少の理由は何でしょうか？

A.前第1四半期の特需として、大型案件をパッケージにて受注しました。パッケージで売上げると、それに伴う保守料(メンテナンス)も付随して増加しますが、今回はそもそものパッケージ売上がなくなったことに起因しております。

【製品・事例について】

Q. Placul が発売されましたが、状況はいかがでしょうか？

A. 発売したばかりですので、今後は以下のイベントに参加するなど販売促進活動に注力してまいります。イベントについての詳細は下記をご参照ください。

◆ 「ガートナー デジタル・ワークプレース サミット」(8月27日～8月28日開催)

<https://www.gartner.com/jp/conferences/apac/digital-workplace-japan>

◆ 「IT TREND EXPO」(9月18日～9月20日オンライン開催)

https://it.expo.it-trend.jp/?utm_source=cmk-f7beyxeh

【IRについて】

Q. 減収減益がある程度わかっていたのに、去年からなぜ色々な媒体で IR 活動していたのでしょうか？

A. 当社の認知度を上げる活動のため、IR 活動を推進しており、そのなかで、前期の一過性の特需の件、今期の減収減益予想の理由などに関しても、お伝えしていましたが、まだまだ説明不足、伝わり切っていないということを感じております。そういった課題に対して、IRTV を活用した決算補足説明動画を公開するなど新しい取り組みも始めました。さらに、公式 note や質疑応答集などでも引き続きお伝えするとともに、様々な説明会への参加などを通して、対話の量・質を高めてまいりたいと思っております。

【採用について】

Q. 今期は引き続き積極的に採用活動を行っていく予定なのでしょうか？

A. 今期は売上が厳しい状況ということもあり、予算とのバランスを鑑み、採用活動を行ってまいります。優秀な人材の獲得は、当社の大きな課題のひとつであることに変わりはありません。

【その他】

Q. 子会社 WEEL は決算にいつ頃のってきますか？

A. 監査法人などとの最終協議中ではありますが、基本方針は、今期 2Q で B/S を取り込み、3Q で P/L を取り込んでいく予定です。

以上

詳細は以下の資料をご参照ください。

◆2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/tdnet/2483360/00.pdf>

◆2025年3月期 第1四半期決算 補足資料

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/tdnet/2483395/00.pdf>

◆2025年3月期第1四半期 決算補足動画

<https://irtv.jp/channel/15895>

◆公式note「DAL通信」

【2025年3月期第1四半期決算のここを見てほしい!】

～減収減益なるも、サブスクは堅調に推移～

<https://note.com/dataapplications/n/n6cc7734692cd>

【株式会社データ・アプリケーション (DAL) について】 (<https://www.dal.co.jp/>)

DALは、1992年にUNIX向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」を提供してきました。「ACMSシリーズ」は、国内のEDIパッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに2,933社14,571サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

【HP】 <https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 https://twitter.com/dal_acms

【note】 <https://note.com/dataapplications/>

<本件についてのお問い合わせ先>

経営企画管理本部
E-Mail : ir@dal.co.jp
Tel : 03-6370-0909

※現在、働き方改革の観点から、在宅勤務と出社のハイブリッド勤務推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。

※当資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON, OCRtran, Placul は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。